

～営業マンから、かんきつ農家に～ 本田 誠 さん(宇和島市(吉田町))

1978 年生まれ
元町自治会長



☆経営概況☆

極早生、早生、南柑 20 号等の温州みかんを約 1.8ha、ポンカン、紅まどんな、甘平等の中晩柑を約 1ha 栽培しています。適期に作業ができず遅れてしまうと収入につながらないため、**品種構成を見直し労働力の偏りをなくす**ようにしました。作業は主に父と 2 人で行っています。

☆ここがポイント☆

- 両親がかんきつ農家であったため、**昔から頭の片隅で実家の農業を継ぐことを決めていました**。しかし、大学卒業の時期はかんきつの値段が安く、農業だけでは生活ができないと、外での仕事を勧められました。県外の大学を卒業後、県内の農機具メーカーで働いていましたが、その後、両親の体調が悪くなり、両親 2 人では作業も大変になってきたため、28 歳で就農しました。
- 農機具メーカーでは、営業から機械の修理まで幅広くこなしました。就職したての頃は知識も話術もないため苦勞することも多かったですが、経験を重ねることで、**コミュニケーション力や忍耐力**を身に付けることができました。仕事をする上で様々な出会いがあり、**人脈はお金で買うことができない**ことを実感しました。
- 就農してからは、作業の傍ら、選果場で選果台のパネル評価員を努め、生産だけでなく、流通や経営方法等を学びました。また、自治会長など地区の役員を引き受けることで、**地域の方との繋がり**も得ることができました。
- 西日本豪雨災害で被災した倉庫を建て直す際には、フォークリフトの利用を前提に倉庫の軒高を高くし、収穫したみかんや機材の配置を見直しました。

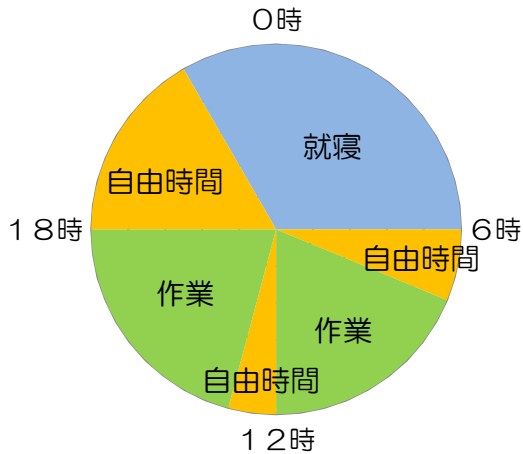


収穫作業



園地からの景色

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

繁忙期は毎日収穫作業で、雨の日は選果作業をしています。天気に左右されてしまうため、プライベートな予定を立てにくく、休日は不定休ですが、土日は息子の野球の応援に行くことが多いです。

趣味は機械いじりです。勤め時代に修理をしていたことで、すっかりハマってしまいました。機械は使えばなしては痛んでしまうので、大事なときにきちんと使用できるよう、普段からメンテナンスし、機械のケアは怠りません！

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷（休日は不定休） →						
【普通期】	← 栽培管理（天候・プライベート等の予定で調整） →						



子供の野球応援へ



フォークリフトでの作業

☆これからの夢や目指すもの☆

西日本豪雨災害により、園地が被害を受け、まだ4、5箇所は完全に復旧していない現状です。崩れた石垣を改修するなどして、息子の代にスムーズに橋渡ししたいと思っています。

☆メッセージ☆

このご時世だからこそ、農業は楽しいと思います。仕事はいくらでもあります。自営なので責任は重くなりますが、自分が手を入れた分だけ返ってくるので、無駄になることは一つもありません。人生何事も経験で、経験を積むことで、学ぶことや得るものが多いです。ぜひ一緒に挑戦してみませんか？